

海外進出ステップアッププログラム「セミナーA実施レポート」

10月10日に第1回となるセミナーA「アニメーション映画祭・海外マーケットについて学ぼう」を開催いたしました。前半は数土氏より海外展開のファーストステップとして活用したい海外アニメーション映画祭・見本市についての解説があり、後半は過年度のMIFAへの参加事業者との対談セッションを行いました。リアルな体験談をもとにしたディスカッションは、非常に盛況で、終了後には参加者同士の名刺交換やコミュニケーションもさかんに行われ、活気のあるスタートとなりました。

セミナーA「アニメーション映画祭・海外マーケットについて学ぼう」 講演内容ご紹介

アニメーションジャーナリスト 数土 直志氏

「2024年日本のアニメーションの潮流 海外状況とマーケット」

- 海外でのビジネスを始めるための最初の一步としてのアニメーション映画祭や見本市の存在に着目し、国際映画祭併設の見本市、独立の見本市、国内のマーケット等それぞれの特徴を解説いただきました。
- 様々な見本市がある中で、アヌシー国際アニメーション映画祭併設の見本市MIFAを例に、どのようなプログラムでビジネスが行われているのかを紹介いただきました。MIFAでは、ブース出展に限らず、ピッチセッションや、近隣のホテルやカフェでの個別のミーティング、マッチングイベント、リクルート等が行われています。その中でも各社、各国が実施するパーティーへの参加も重要であること、アジア圏の力が高まっていることも解説いただきました。
- MIFAではshare withやWTAサミット等特徴的なイベントも多く、制作会社や放送局のニーズを知る機会や、個別のテーマに沿ったセッション等に触れることができること、スタジオフォーカスでの当事業の過年度出展社の活躍の様子等も紹介いただきました。



数土氏によるセミナーの様子

「東京都海外進出ステップアッププログラム～MIFA出展を経験して」

Studio Selfish 合同会社 代表 加藤 タカ氏

モデレーター：数土 直志氏

- 対談セッションでは、数土氏をモデレーターに、過年度MIFA出展を経験した合同会社Studio Selfishの加藤氏を招き、MIFA出展の魅力や大変さ等について赤裸々に語っていただきました。
- 個人クリエイターとして企画をMIFAに持って行った2016年から、企画を変えながらMIFA参加を重ねていき、仕事に繋がっていったという実体験は非常にリアリティをもって受講者に伝わっていました。
- 特に、海外と仕事をするにあたって苦労するクオリティコントロールの考え方や、レギュレーションの違い等、仕事につながったときの面白さと大変さの両面をお話いただくと同時に、これから海外を目指す方に向けて多くのアドバイスやエールをいただきました。



対談セッションの様子